



自主・自治・自立

日和田中学校だより No. 2

発行 平成30年4月18日(水)

文責 校長 長沼政美

教育目標

優しく ～ 思いやりのある人
賢く ～ すすんで学習する人
逞しく ～ 心身ともに健康な人

目指す生徒像

豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
学習課題を持ち、追究する生徒
たくましい心と体を持つ生徒

4月12日(木)～14日(土)にかけて、奈良、京都、大阪方面の修学旅行に行っていました。天気にも恵まれ、楽しい旅行となりました。1日目は、奈良の法隆寺、薬師寺、東大寺を見学しました。2日目は、京都市内で班別自主研修を行いました。京都市内の文化遺産の見学や体験活動などから日本の文化について学びました。3日目は、USJにおいてアトラクションを楽しみました。3年生が全体で行動したのは、1日目の奈良方面です。特に、薬師寺では、3年生全員で講話を聞くことができました。講話では、「自分の置かれている立場を理解して、行動することが大切である。」「失敗を他人のせいにするな。」という内容の話がありました。

「自分の置かれている立場を理解して、行動することが大切である。」ということについては、「奈良県で一番有名なお寺はどこか? 今君たちはどこに居る。」というようなユーモアを交えながら、物事を正しく判断し、どうすべきか?どうすることがベストか?を考えて行動することが、社会の中で生きていく上でとても重要なことであるということを考えさせられました。

また、「失敗を他人のせいにするな。」という話では、「テストで思うような点数がとれなかったとき、先生のせいにしたり、親のせいにしたりしないこと」というような内容を話していました。そのことについてネットで調べてみました。成長できない人は外部(他人)のせいにする。外部のせいにすることで、気分が楽になる。しかし、外部のせいにする人は、失敗したことの本当の理由から目をそらしている。したがって成長できずに終わってしまう。私もその通りだと思います。何が悪いのかが分からなければ、次にどのようにすれば良いのかも分からない。何も分からないままに終わってしまうと思います。私は、もう少しで60歳になります。60歳は、還暦です。皆さんより、50年近く長生きをしていろいろ経験していますが、今でも失敗は多々あります。還暦に達しようとする人間でも失敗があるのですから、皆さんのようにこれからどんどん成長し大人になる年代であっては失敗もあるはず。特に、若い年代では、失敗を恐れずに多くのことを経験し成長してほしいと思います。

・ テストで良い点がとれなかったとき ・ 練習試合で負けたとき ・ 友達とトラブルになったとき
いろいろ失敗はあると思いますが、冷静に判断し、どうすれば良いかを考え、行動してください。

そして、その失敗から「成長できる人」になってください。

3年生の皆さんには、修学旅行から学んだ一つとして、心に刻んでほしいと思います。また、1・2年生には、これから大きく成長する上での心の支えとして心に刻んでください。



失敗は他人のせいにしない。失敗を恐れない。失敗から学び、大きく成長する。

<正規時間割開始>

4月17日(火)から、正規時間割による授業を開始しました。授業を大切にすることが一番の学力向上対策です。時間割を確認し、授業に必要なものをきちんと準備してください。忘れ物があると学習効率が低下します。授業の中で、その日の内容を理解するように努力しましょう。さらには、覚えたことを忘れないように復習に取り組むことは大切です。テストの時に、なんとなく分かっているのにできなかったという経験があるでしょう。それは、一度覚えたことを忘れてしまっているからです。忘れないためには、繰り返し行うことしかありません。時間を有効に活用し、皆さんに与えられている時間は平等です。どのように使うかは、その人の判断になります。「やりたいこと」「やらなくてはならないこと」いろいろありますが、よく考えて行動しましょう。